



Title : 図書館を楽しくする講演会

#### ❖ ジャズのまち南郷

愛好家なら誰もが憧れる一関市の「ベイシー」を筆頭とするジャズ喫茶の数々。参加バンド数国内最大を誇る仙台市の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル（J S F）」……。東北はこよなくジャズが盛んな土地柄です。

仙台でJ S Fが始まったのは平成3年ですが、一步先んじてその前年に始まったジャズ音楽祭が、青森県の旧南郷村（現八戸市南郷区）で開催される「南郷サマー jazzフェスティバル」。今年も7月26日（土）に開催されます。百万都市仙台のJ S Fは2日間開催で例年約70万人を集めます。対して人口5728人の南郷には1日で5千人ほどが全国各地から詰めかけます。人口比では南郷の圧勝です。岩手県に接する失礼ながら山の中の南郷に5千人ですからね、大したもんです。

今年の南郷ジャズフェスには、常連の日野皓正をはじめ、アカペラコーラスグループTAKE6（グラミー賞10個受賞！）やマンハッタン・ジャズ・オーケストラのデビッド・マッシュューズなど錚々たるメンバーが出演します。アクセスは、八戸道南郷インターから約2分と至近です。ま、他所のイベントを長々と宣伝しても始まらないのでこのくらいにしときますが。

ついでに南郷の観光情報も。山村だけあって果樹が多く、観光農園も数多くあります。一番多いのはブルーベリーですが、他にもさくらんぼ、いちご、梅、りんご、ラベンダー……。

#### ❖ 南郷の図書館から

南郷ジャズフェスの会場「カッコーの森エコーランド」の、道路を挟んで向かい側にあるのが南郷文化ホールと、そして本題の八戸市立南郷図書館です。平成17年開館の新しい図書館で、21年からは指定管理者として(株)図書館流通センターが運営しています。先月お邪魔して見て来ました。

羨ましいのは、蔵書冊数は5万冊余りと多くはないのですが、延べ床面積が約2千平米で大館市立中央図書館とほぼ同じなため、書架がゆったりと配置されていること。資料のテーマ展示も多く、情報量の多い図書館になっています。また南郷らしく充実したジャズのコーナーもあり、入口付近には絵画や写真の展示会ができるスペースもあります。

何より素晴らしいのは、6人の職員がそれぞれ心から楽しんでいろんな仕掛けを自分たちで考え、実行していることです。大館の図書館だって個々の職員がいろいろ飾り物を工夫して親密な空間作りに努めていますが、全体としてはやはりちょっと負けているかもしれません。こういったことは、つまりみんなが図書館をよくするために考え工夫し実践する風土は、施設設備がどうこうよりも、館長の姿勢、というか誘導によるところが大きいのだらうと思います。

来週の6月30日（月）午後1時から2時半まで、その南郷図書館の石原均館長を迎えての講演会を開催します。テーマは「指定管理者としての図書館運営」。一見お堅そうですが、それはこの「講演会」が本来県北の図書館員向けの研修会だからで

す。石原館長は、講演や地元FM局などで話す機会も多く、話柄が広くて一般の方でも十分楽しめます。お金をかけるのではなく、知恵と情熱で図書館を良くするヒントが詰まった講演になることでしょう。図書館員以外の方にも聞いていただきたいので、図書館およびその周辺に関心のある方はぜひいらしてください。お金はかかりません。席に限りがありますので、なるべく事前に中央図書館（42・2525）に電話で申し込みください。

なお、会場は大館市民文化会館の展示室です。当日図書館は休館ですので、ご注意ください。（陽）